

11	単元名	6 課 体調を伝える	1 / 2
----	-----	------------	-------

### 1 単元目標 体の部分の名前を知り、体の調子を伝える

### 2 単元の指導内容（本時 1 / 2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
6	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の部分の名前</li> <li>体の調子を伝える。</li> </ul>	「どうしたの」「だいじょうぶ」「〇い たい」 目・耳・鼻・口・手・足	ま・み・む・め
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の調子を伝える。</li> <li>食べ物・飲み物の必要・不必要を伝える。</li> </ul>	「きもちがわるい」 「たべる・のむ」 「たべない・のまない」 たべもの、のみもの	も・や・ゆ

### 3 本時の指導目標

- （1）体の部分の名前が分かるようにする。
- （2）体の調子を伝えることができるようにする。

### 4 指導のポイント

- （1）「頭・手・足・目・耳」などの体の部分を表す言葉を、実際の体の部分と対応させながら、理解させる。
- （2）「どうしたの」と体の調子を尋ねられたときに、「だいじょうぶ」「〇がいたい」を使って体の調子を答えさせる。

### 5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

#### 【活動】

- 体の部分の歌：「ロンドン橋落ちた」の替え歌で、「頭・肩・手・足、手・足、手・足、頭・肩・手・足、目・耳・鼻・口」と体の部分を手で示しながら歌う。
  - 自分の体の部分をさわりながら「目目目目、肩」というかけ声をかけて、最後に言った体の部分の名前を相手に言わせるゲームを用いると、体の部分を覚えたか確認ができる。
  - 二人組になり、一人が、目、耳、口、手、足などの部位を手で押さえる。一人が「どうしたの」と聞き、尋ねられた人は「〇が痛い」と言えるようにする。役割を交代して発話に慣れさせる。
- ※児童・生徒の発達段階に応じて活動内容を取捨選択して柔軟な姿勢で指導に当たる。

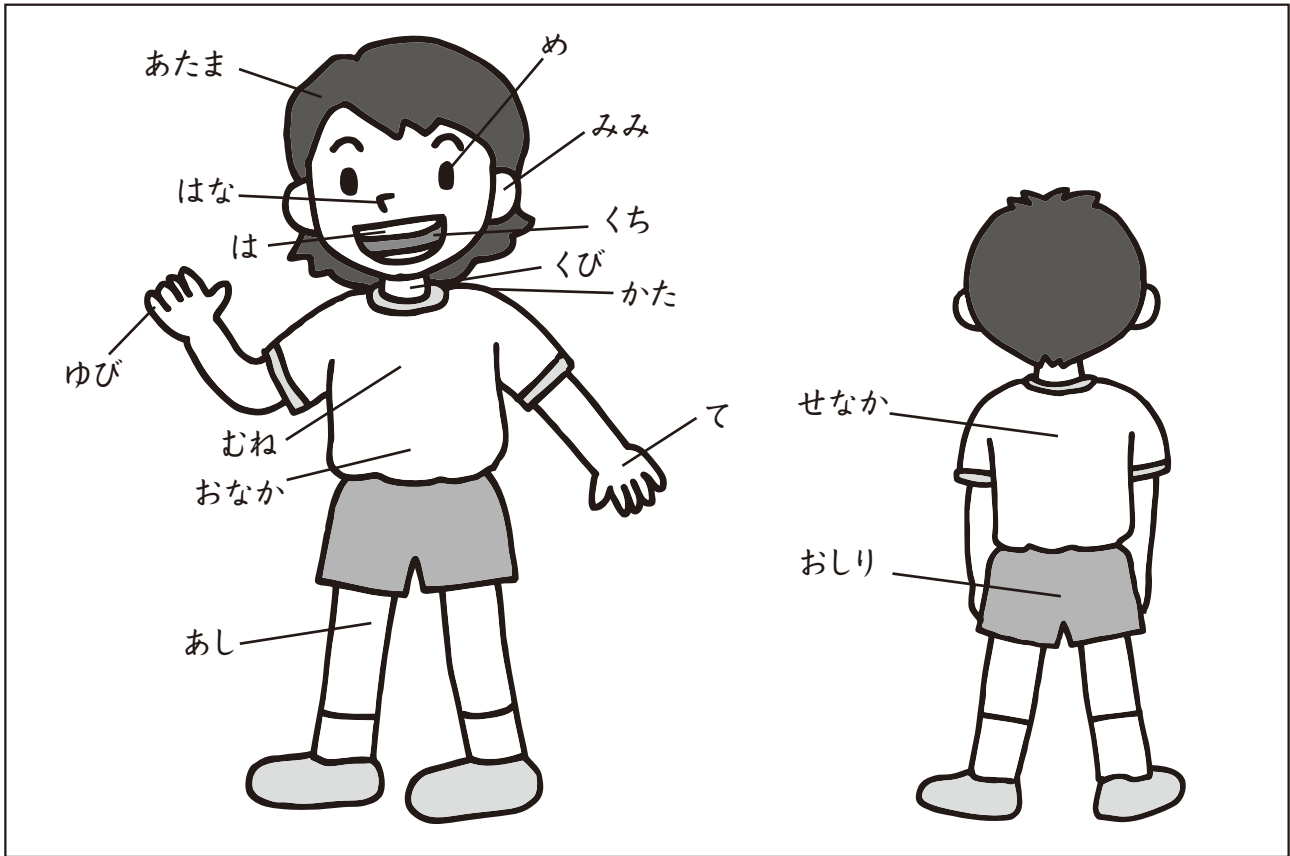
#### 【留意点】

- 体調が悪いときに、自分から「〇が痛い」と言えることや、体の不調があって「どうしたの」「大丈夫？」と尋ねられたときに、自分の体調に合わせて、「大丈夫」又は「〇が痛い」などと答えることは重要であることから、繰り返し反復練習をさせる。




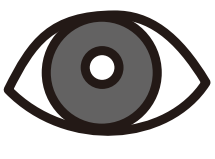





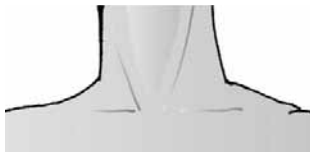


## 6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	始めの挨拶 前時の復習	始めの挨拶をする。 前時の復習をする。	
活動1	表現① 体の部位を知る。 みみ・め・て・あし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の部分の名前を教える。</li> <li>・絵を掲示し、体の部分を手で押さえながら、体の部分の名前を教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の掲示</li> <li>・体の部位の歌 (ロンドン橋の替え歌)</li> </ul>
活動2	表現② 「〇いたい」  「どうしたの」 「だいじょうぶ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が腹を押さえるジェスチャーをして、「お腹、痛い」といい、「〇痛い」という表現を教える。 児童・生徒が「おなか、痛い」のジェスチャーをしたとき、教師が「どうしたの」「大丈夫」と声をかけ、「どうしたの」「大丈夫」の意味を理解させる。</li> <li>・教師と児童・生徒が役割を交代しながら「〇が痛い」という表現を練習する。 何回も尋ねたり答えたりする練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の提示</li> <li>・母音の提示</li> </ul>
活動3	文字 「ま・み・む・め」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ま」・「み」・「む」・「め」の書き方を教える。</li> <li>・「うま・みみ・むし・め」など、「ま・み・む・め」を使った言葉の読み書きを練習する。</li> </ul> <p>※体の名前には「ま・み・む・め」を使った言葉が多い。体の絵に体の部分の名前を表す言葉を書かせる。</p>	<p><b>【宿題】</b> ひらがな練習帳</p>
挨拶	終わりの挨拶	終わりの挨拶をする。	

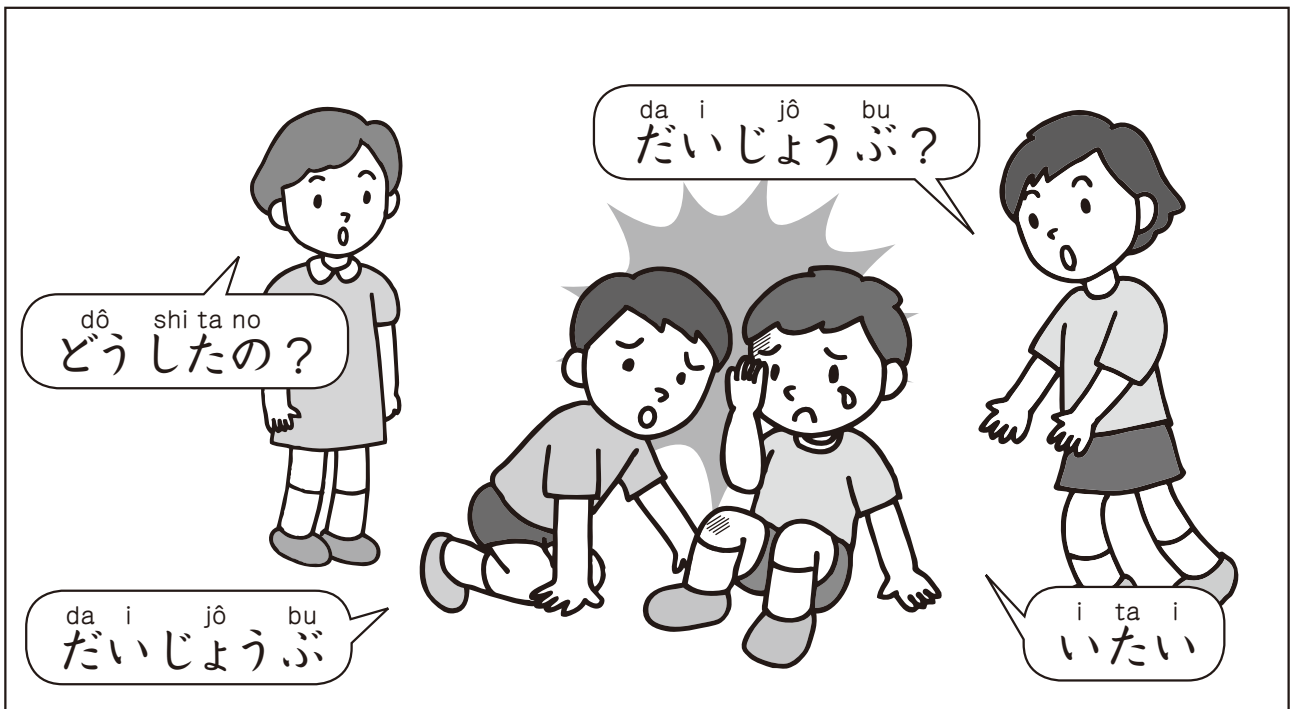
# 7 教材・ワークシート



なまえを ひらがなでかきましょう。

 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>
 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>
 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>	 <input type="text"/> <input type="text"/>

○ いたい



おなか  
いたい



あし  
いたい



あたま  
いたい



て  
いたい



め  
いたい



は  
いたい

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30